



10月7、8日に「少林寺拳法世界大会 in Tokyo, Japan」が開催されました。その大会で宗像市在住の中島 秀幸氏は同大会の「論文発表の部」に出場し、見事優秀賞を獲得されました。

少林寺拳法は“人づくりの行”であり勇気、慈悲心、正義感を育む拳法として、宗道臣氏が1947年に香川県多度津町で創始しました。現在、その教えは世界各国に広がり、世界大会には24の国と地域の拳士が参加しました。

少林寺拳法は単なる武道やスポーツではなく、肉体と精神は不可分であるという考え方から、昇段に論文試験が課されるなど、心技体を修練し、社会に役立つ「真のリーダー」を目指す「人づくり」を目的としています。

本日は世界大会に出場した中島氏が宗像市長を表敬訪問します。

<少林寺拳法世界大会について>

- 1.開催日 10月7日(土)、8日(日)
- 2.場所 日本武道館
- 3.出場数 約3,500人(24の国と地域)
日本、アメリカ、イギリス、フランス、イタリア、ブラジル、インドネシアなど
- 4.競技部門 35部門(競技25、発表8)
- 5.その他
 - ・世界大会は4年に1回開催。今回はコロナの影響もあり、6年ぶりに開催。
 - ・前は2017年のアメリカカリフォルニア大会
 - ・日本では2013年大阪大会(大阪中央体育館)以来、10年ぶりの開催。

<世界大会 論文発表の部について>

- 1.世界大会出場人数 16人
(日本:10人、アメリカ:3人、ポルトガル、スリランカ、オランダ:各1人)
- 2.論文テーマ 私にとっての理想境
- 3.表彰内容 優秀賞を受賞
- 4.その他
 - ・世界大会開催前には各地区で大会を開催(日本では各都道府県大会)。各地区の代表が世界大会に出場。
 - ・少林寺拳法福岡県大会は令和5年6月11日(日)に宗像ユリックスで開催。462人が出場。

中島 秀幸氏

1972年生まれ。51歳。准範士六段。

少林寺拳法は26歳から入門。現在は赤間地区で7人を指導。

少林寺拳法世界大会(論文の部)には今回2回目の出場。

【問い合わせ先】

宗像市 文化スポーツ課 担当:吉丸 TEL:0940-36-1540